

団体名：子ども食堂ゆい（認定特定非営利活動法人 女性のスペース結）

活動地域：中野区

助成額：99,920 円、助成回数：3 回

ホームページ：<http://watashihiro.com/>

Facebook：<https://ja-jp.facebook.com/zyosei/>

【当初の目的に対する結果】

月 2 回の弁当配食を続け、1 月からはコロナ対策を強化しながら、会食形式へ移行した。作る食事は三分の一程度に減ったが、以前よりも交流できるようになった。同時に夕方からの見守り事業を始め、個別の家庭や子ども達の状況が少しずつ分かるようになってきた。食事場所を提供することへの大切さを再認識している。近くの保育園、学童保育施設や外国籍の家族への交流も少しずつではあるが、果たせている。また、月 1 回のフルーツを配布する事業でも、食材の提供を受け東都生協の産直の良さと美味しさを伝えることができたと考える。

【主催者の感想】

弁当配食からの移行については、大きな決断だったと振り返る。お弁当は喜ばれるもののどのように食べられるか、残されるか、どんなふうに食べているかは見えてこない。一方、どうすればコロナウイルス感染から利用者を守れるか。またスタッフを守れるか。美味しいものを食べながら、今楽しい事、困っていること、感じていることを共有する喜びを、コロナ以前の頃にすこし戻せたと思っている。1 月から 3 月までが守られて活動できたことに安堵の念を抱いている。

【支援を受けられた方の声】

4 人の子どもを持つ母親が、2 人の姉妹を毎回食堂や見守りの活動に参加させている。家庭は困窮しているように察せられるが、内に閉じこもりがちな姉妹を受け入れている私たちにいつも感謝の言葉と引き続きの利用希望をメールで送ってくれる。まだまだ、きずなは太いと言えないが、これからの生活や進路が多くの助けや本人たちの成長で切り開かれていくように願っている。

